# Report: Working Group II Concept of "Peacetime"

Learning from USNS Mercy's Peacetime Operation: Preparedness, Training, Capacity Building such as Pacific Partnership

- I. Concept of Japan's Hospital Ship for Disaster Response
  - 2. Activities of Japan's Hospital Ship

3. Operating policy and measures such as personnel plan

4. Legal Regulations and Solutions

1. Concept of Japan's Hospital Ship for Disaster Response

# **Key Issue**

# Natural disaster is the biggest risk for Japan

### Tokyo: Highest Risk of Natural Disaster in the world

-I. Tokyo, 2. Manila (Philippines), 3. Perl River Delta (China), 4. Osaka/Kobe,

5. Jakarta (Indonesia)

-Death reduced yet Economic loss increased by natural disaster

#### 自然災害で最も危険な都市 ランキングトップ 10(2013年)

- 1 東京・横浜(日本)
- 6 名古屋(日本) 7 コルカタ(インド)
- マニラ (フィリピン) 3 珠江デルタ(中国)
- 8 上海(中国)
- 4 大阪・神戸(日本)
- 9 ロサンゼルス (アメリカ)
- 5 ジャカルタ(インドネシア) 10 テヘラン (イラン)

#### 災害別の危険度ランキング(日本の都市部)

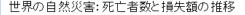
【地震】 東京·横浜 1位、大阪·神戸 5位、名古屋 7位 【暴風雨】 東京・横浜 2位、大阪・神戸 4位、名古屋 7位

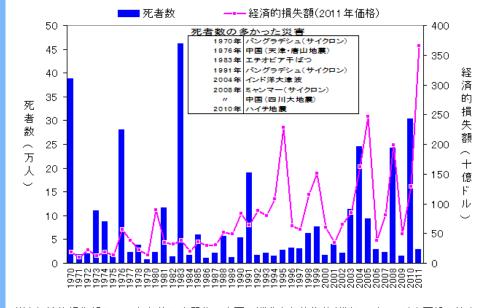
大阪・神戸 2位、東京・横浜 4位

【津波】 東京・横浜 1位、名古屋 2位、大阪・神戸 3位

※被災者数ベースの場合

#### 出典:2014年9月スイスの再保険会社「スイス・リー」の「自然災害で最も危険な都市ランキング」





(注)経済的損失額の2011年価格の実質化は米国の消費者価格指数(世銀WDI)により当図録で算出。 (資料) CRED, EM-DAT (国際災害データベース):2011年はUNISDR ブレスリリース 18 January 2012

### 1. Concept of Japan's Hospital Ship for Disaster Response

#### Major natural disasters and its economic losses (1980-)

年次	国名	災害種類	を高齢を対し 2000年度	( EP) (Family)	死亡者至 (人)	災害名
1994	USA	Earthquake	67	5.4	61	ノースリップ地質(ロサンセルス地質)
1995	JAPAN	Earthquake	148	11.8	6,430	阪神・淡路大震災
1998	CHINA	Heavy flood	42	3.4	4,159	揚子江大洪水
2004	JAPAN	Earthquake	33	2.6	46	新選県中麓地震(10月)
2005	USA	Hurricane	144	11.5	1,328	ハリケーン・カトリーナ(6月)
2008	CHINA	Earthquake	89	7.1	84,000	四川大地震(5月)
2008	USA	Hurricane	31	3.2	170	<b>カリケーンガスタズ(明)アイダ(明)</b>
2010	CHIRI	Earthquake	40	2.5	520	チリ地震(中界マウレ州中心)
2011	JAPAN	Earthquake Big Tsunami	210	16.8	15,840	東日本大震災(3月)
2011	THAI	Heavy flood	40	2.2	813	タイ洪水

### Frequent Natural Disasters in Japan

常在有事はリスク管理の大前提。有事、平時を分けて、平時の運用をどう するかでスタートするのではない。平時から常に有事意識の危機管理を住民 にいつも訴えるような啓発・啓蒙教育の仕組が必要。

#### Healthcare Access in Maritime Nation with Large **EEZ**

- 島嶼部、漁業従事者、国境防衛従事者等の医療水準向上
- 首都直下型地震、南海トラフ巨大地震時の海上移動ルール の標準化を図る

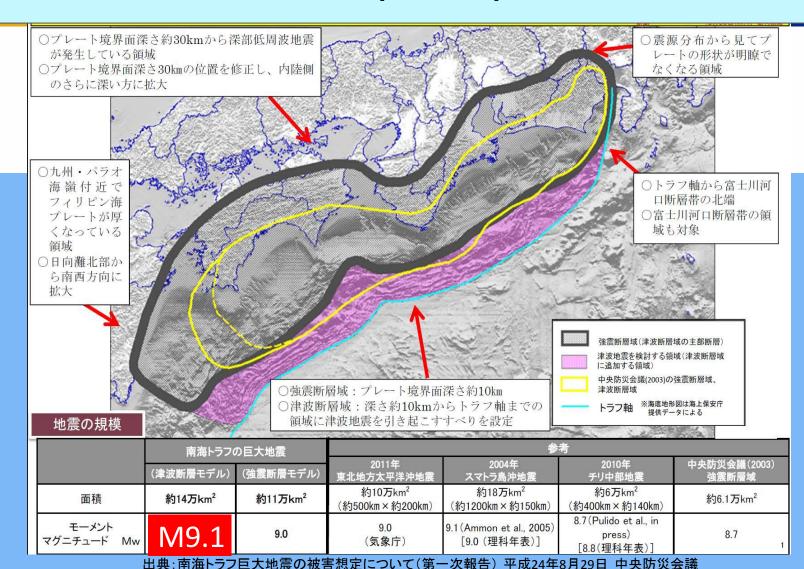
Medical Humanitarian Assistance for Globalized Society: "Japan is Capable"

- アジア諸国も自然災害が最大のリスク
- 医療を中心とする人道支援・災害救援(HA/DR)

"Maritime Approach" should be included for disaster relief and its innovation (current plan is "ground approach" heavy)

## The RISK: Nankai Trough in Japan

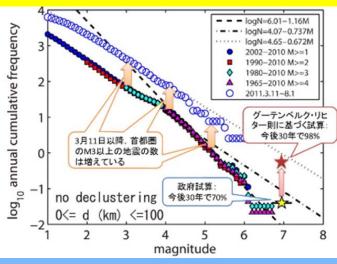
-Expected regions of faulta dislocation are vast
-Giant earthquakes expected



## 2. Activities of Japan's Hospital Ship



#### 大災害は忘れた頃にやってくる



グーテンベルク・リヒターの法則

### **Preparedness in Peacetime**

- 災害医療訓練、研修医療機関
- DMAT訓練・駐屯基地、災害医療の情報集約・司令塔機能
- 災害拠点病院を補完する海上の医療拠点

# Healthcare provision and Capacity building in minor islands

- 島嶼エリア、へき地での医療、健診等
- 医療従事者の人材育成

#### HA/DR

- ▼アジア諸国への医療を中心とする人道支援・災害救援、PP参加
- 支援物資運搬、医療以外も含めた人道支援活動への寄与

### **Expected losses by Inland Earthquake in Tokyo:**

-23,000 death / 123,000 injuries -610,000 collapses of buildings

ブロック塀 等の倒壊, 500人 2%

火災 16,000 人 70 %

計:最大約23,000人

内閣府中央防災会議(平成25年)

建物倒壊等*,* 6,400人 28 % 約 123,000 人

負傷者

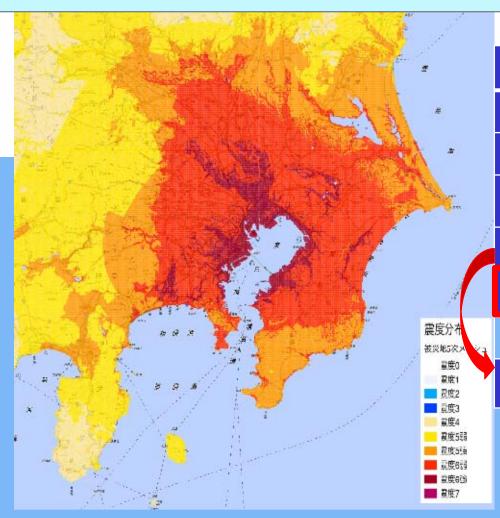
全壊·全焼 失61万棟 急傾斜 地崩壊, 60人

0%

逃げ惑い

### Expected losses by Inland Earthquake in Metropolitan Area:

-23 Tokyo Metropolitan Wards at risk -19,039 patients expected in total

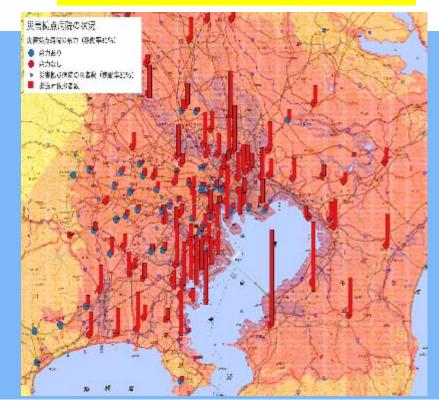


都道府県	死者数	重傷者数	負傷者数
千葉県	1892	3826	31483
埼玉県	1409	2841	25201
神奈川県	2505	5299	37236
東京都	4637	7073	50230
合計	10443	19039	144150
東京23区	4131	6112	40963

医療機関での治療が必要になるのは重症 患者の19039人(推計) 東京都の重傷者は、23区内に集中

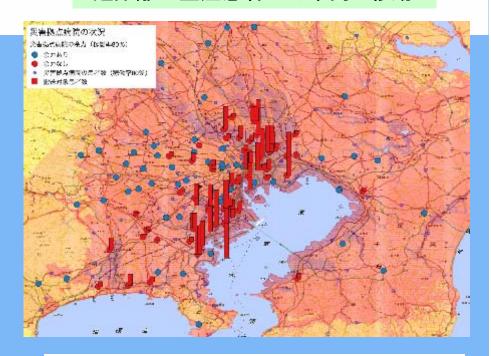
### Metropolitan Bay Area at Risk:

- -Ideal simulation: ground transportation functioned
- -Realistic simulation: ground transportation limited (only 5 km diameter acceptance of patients)
- ・災害拠点病院は全て機能
- ・道路は全て通行可能で渋滞なし
- ・重症患者は全て車両で移動



課題:災害拠点病院が重症患者を収容しきれるか

- ・災害拠点病院は全て機能
- 道路は通行可能であるが渋滞あり
- ・近距離の重症患者のみ車両で移動



災害拠点病院から5km圏内の者のみ受診可能

出典:海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟勉強会資料

# 3. Operating policy and measures such as personnel plan

Concept of "Peacetime" should be redefined

-- Disaster will happen anytime in Japan

#### Organization, Cost, and Utilization

- 中型の中古船の改修を前提とすれば、初期投資は30億円程
- 年間の運営資金は10~20億円程度と想定
- 運営方法は、「公設民営」方式
- 利用主体はSPCから病院船を賃借、利用料をSPCに支払う方式;災害時は政府・自治体(中央防災会議、災害対策本部等)が傭船する形式

### Operation for Disaster Response, Disaster Training

- 国が本船を「災害対策業務」として傭船し、「医療チーム員」(国手配・経費負担)を 乗船させ対応できるルールメイキングを平時業務とする人材の養成
- 指揮命令系統設置;災害拠点病院の指定、DMAT活動拠点本部

### Operation for Minor Islands

• 現地医療スタッフにより病院船の機器・設備の活用

Public Private Partnership with Private Companies and Research Institutes

- 民間企業の活用にも工夫
- 離島住民の患者コホート研究

### 4. Legal Regulations and Solutions

### Disaster Time

- 被災地に出動、災害時拠点病院の一環として運用
- 地上の災害時拠点病院と同様に、DMATが派遣されて強化される

#### **Peacetime**

- 病院船の法律上の位置づけが明確でない
- 例窓済生丸)災害時以外は診療所として位置づける。
- 現行法での診療班は、派遣元病院の出張診療扱いとする
- 緊急的に災害時の病院船の派遣を求める法整備か、あるいは行政解釈がないと船 は沖にとまったまま港に着けることができない。
- 港から物資をどこへ運んだらいいのか、誰のところに届ければいいのかなど、災害 発災地域の行政と平時からルールを全国標準化しておく必要がある。
- 病院船は医療法上にはない。医療法でベッドが持てるのは病院に限られる。病院 は定位置に番地がはっきりしないと、病院として認められない。診療してもいけない。

### 4. Legal Regulations and Solutions



- 1. 一隻では用を足さない。官民で海上アプローチの方法について平時からルールづくりが必要。
- 2. 緊急的に災害船をつけてもいい法整備か行政解釈がないと船は沖に止まったまま港につけない。
- 3. 港から物資をどこへ運んだらいいのか、誰のところに行ったらいいのか分からない。災害時の行政とのネットワークを平時から備える必要がある。
- 4. 病院船は医療法上にはない。医療法でベッドが持てるのは病院に限られる。病院は定位置に番地がはっきりしないと、病院として認められない。診療してもいけない。

### Working Group II:

# Conclusion

#### 日本の最大のリスクは自然災害である

- 1)災害時 被災地に出動、災害時拠点病院の一環として運用
- 地上の災害時拠点病院と同様に、DMATを派遣・強化
- 2)平時運用の課題
- 一病院船の法律上の位置づけが明確でないー 平時運用は診療所として位置づけ、済生丸方式により、 現行法での診療班・派遣元病院の出張診療扱いとする

1 日本が病院船を 保有する意義 広いEEZ/418の有人離島(6430の無人島)島嶼を持つ海洋国家としての医療アクセス向上。国際社会における人道支援としての 医療支援を行う意思があること、HADR能力の証明・寄与

4 法的制約等の課題と解決策

公設民営

3 運営体制、人員

体制等の方策

2 日本の病院船 の 活動内容

平時=常在有事

#### Standardization and Rule Making

常に有事を意識するような政策・仕組みをづくりが重要。、 災害拠点病院を補強する海上の医療拠点、DMATの駐屯基地、

災害医療の情報集約・司令塔機能中型の中古船の改修を前提

参考例: 初期投資は30億円程年間の運営資金は10~20億円程度と想定

運営方法は、「公設民営」方式利用主体はSPCから病院船(多目的船)を傭船、

利用料をSPCに支払う方式:災害時は政府・自治体(中央防災会議、災害対策本部等)が傭船する形式

#### 常在有事はリスク管理の大前提。

有事、平時を分けて、平時の運用をどうするかでスタートするのではない。常に有事を想定した危機管理する。 国民や対象地域の住民に平時から啓発啓蒙教育訴で共有特に首都圏で起こる災害でコントロールできない対応は、平時から海からのアプローチの標準かを図る 島嶼訓練・装備研究・人道支援災害救援(HA/DR)への参加

#### -Discussion Summary-

- 1. Natural disaster is the biggest risk for Japan
- 2. Concept of "Peacetime" should be redefined --- Disaster will happen anytime in Japan
  - 3. "Maritime Approach" should be included for disaster relief and its innovation (current plan is "ground approach" heavy)
    - 4. Japan is the 6th largest EEZ Nation (4.47million sq.km)
- 5. "Public-Build/Private-Operate" model should be considered for the "Maritime Approach"